

地域づくり人 養成講座報告 自主研究論文

「自助と起業」

和歌山大学観光学部2年

藤井 優希



はじめに

今年度の「地域づくり人養成講座」のテーマが「起業と地域づくり」ということで、県内各地で起業された方々のお話しを伺うことができた。1回目はまちづくり総論ということで、地域づくりの考え方を中心に、2回目は今治市の2つの事例を聞き、3回目には三津浜の事例を現地のフィールドワークを含めて見聞きすることができた。いずれの事例においても、自身のやりたいことの実現の延長上に地域との関わりがあることが共通点であり、そのことが大きな意味をもつことなのではないかと考えた。

講座を通じて学んだこと

まず、第1回の前田先生の講義では、これから目指すべき地域社会として、住民満足を高めるために、自助、互助、共助といった非制度的な自治が重要視される傾向にあることを知った。自助は自分の力でできることで、互助がお互いに助け合うこと、共助が市民活動やボランティアといった集まりでの助け合いのことを示す。

続いて、第2回では、「さかりば農園」の鍋島さんと「こりおり舎」の千々木さんの話から、どちらも地域おこし協力隊としての活動も経て、自身がやりたいことを形にした結果、起業という選択をしたと考えられる。特に、千々木さんは、もともと書店を開業するという目標があり、地域の人のために何かをするということを考えていたわけではなく、地域おこし協力隊の活動を通して、地域の人への恩返しを考えるようになり、観光客だけではなく、地域の人に向けても開かれたお店として開業したという経緯を話されていた。また、鍋島さんの話では、ゲストハウスの交流スペースが集落の人が集まる場所として活用されているとあった。このようなことから、地域に活動や場所が生まれることで地域の人が集まるようになり、地域が活動的になる可能性が高いと考えられる。その活動や場所というのは、この2つの事例ではどちらも自身のやりたいことを形にした結果生まれたものであり、自分でできること、つまり、自助と言うことができるのではないかと考える。

さらに、第3回では、三津浜のフィールドワークを通して、三津浜にクリエイ

ティブな人たちが集まってきていて、新たなお店がいくつもできていることを知った。山口先生の話に「ワークライフバランス志向」という言葉があったが、まさに、これらのお店は自分のやりたいことの追求の結果できたものであり、先ほど同様自分でできること、つまり、自助と言えそうだ。また、それだけではなく、三津浜地域として広く捉えた時に、個々のお店が増えてくることで、面としての魅力として地域全体の活性化に繋がりは始めていると考えられる。そうなる、それぞれの人の自助が集まることで、地域内での互助や共助としても機能し始めると言えるのではないだろうか。そして、それを支えているのが初期に商店街の人を説得した丸山さんや空き家バンクの運営を通してマッチングを行っている「ミツハマル」といった仲介役であり、重要な存在であると考えられる。

ここまで、第2・3回で紹介されたそれぞれの事例をこれからの地域づくりで重要視されている自助、互助、共助と結びつけながらまとめ直してみた。地域づくりと言えれば行政の役割（公助）という時代ではなく、なっていることを改めて感じた。起業は自身のやりたいことの実現

のためにするものではあるが、それが、地域の人やものといった固有の資源と結びついた時には、地域社会における自助を担うこともでき、地域づくりの1つの方法となることを学んだ。

今後取り組みたいこと

地域づくりへの行政（公助）以外での関わり方（自助、互助、共助）について考えることができた講座だったと感じている。これまで地域づくりや地域活性化に関わるには行政しかないと感じていたが、それだけではない様々な地域との関わり方があり、今回のテーマである起業もその1つだ。これから大学卒業後の仕事を考える上で、まずは、自身が地域においてやりたいことを明確にし、どのようにに関わりたいかを考え直すことから始めたい。

最後に

新型コロナウイルスの影響もあり、大学の授業がオンラインで済まされる中、地域づくりに実際に取り組まれている方々とともに、学び、考えることができたことは貴重な経験だと感じています。各講師の方々やECPRの方々、受講された皆様、ありがとうございました。

令和3年度 「地域づくり人養成講座」 受講生の募集

（公財）えひめ地域政策研究センターでは、地域づくりに関心のある方々を対象に、地域づくり人養成講座を開催します。講座では、専門家による講演、地域づくり活動地への訪問、現地でのワークショップなどを通じて、地域づくりの意識やスキルの向上を図ります。

◆研修期間

令和3年6月から令和3年11月までの間で、6回（月1回）程度の開講を予定しています。

◆内容

テーマ毎に県内各地に赴き、現地活動者の指導を受けながら、地域の現状を学ぶとともに、現場に即した課題解決能力の向上を目指してワークショップなどの実践的な研修を実施します。さらに、事業を通じて参加者相互や県内各地の地域づくり実践者との交流を図り、研修終了後の活動にも活かせるネットワークをつくります。

◆受講料

原則受講料は無料ですが、飲食費、研修会場や集合場所までの旅費等は自己負担となります。

◆募集人員及び応募資格

- 20名程度
- 地域づくりに関心があり講座に継続して参加可能な方（地域づくりの活動者、行政職員〈県・市町〉、学生、各種団体関係者など）

◆応募期間

令和3年5月末まで

◆応募方法等

詳細はホームページをご覧ください。

地域づくり人養成講座

検索

<http://www.ecpr.or.jp/actions/training-course/>